

服用に際して、必ずこの説明文書をお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第②類医薬品

鎮咳去痰薬

せき、たんに
ジキナ[®]せきどめ錠

- ◆ジヒドロコデインリン酸塩が、せきをしずめます。
- ◆ブロムヘキシン塩酸塩と生薬のキキョウ乾燥エキスが、せきの原因となるたんを出しやすくします。



使用上の注意

× してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

1. 次の人は服用しないでください。
(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
(2)12才未満の小児
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください。
他の鎮咳去痰薬、かぜ薬、鎮静薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
(眠気等があらわれることがあります。)
4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。
5. 過量服用・長期連用しないでください。

🗨️ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
(1)医師の治療を受けている人
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人
(3)高齢者
(4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
(5)次の症状のある人 高熱、排尿困難
(6)次の診断を受けた人 心臓病、高血圧、糖尿病、緑内障、甲状腺機能障害、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい、興奮、けいれん
泌 尿 器	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
呼吸抑制	息切れ、息苦しさ等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
便秘、口のかわき、眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

裏面もお読みください。

効能・効果

せき、たん

用法・用量

次の1回量を1日3回、食後に水またはお湯で服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
15才以上(成人)	3錠	3回
12才以上15才未満	2錠	
12才未満	服用しないこと	

(用法・用量に関連する注意)

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3)錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。

(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

(PTPシートの取り出し図)



成分・分量

1日量(9錠)中

成分	含量	はたらき
ジヒドロコデインリン酸塩	30mg	せき中枢の異常な興奮を抑えてせきをしずめます。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	75mg	気管支を広げ、せきをしずめます。
ブロムヘキシン塩酸塩	12mg	せきの原因となるたんを出しやすくします。
クレマスチンフマル酸塩	1.34mg (クレマスチンとして1mg)	アレルギー性のせきを緩和します。
無水カフェイン	90mg	眠気を軽減します。
カンゾウ乾燥エキス	133.93mg (原生薬換算量:937.5mg)	のどの炎症を抑えます。
キキョウ乾燥エキス-Q	90mg (原生薬換算量:405mg)	たんを切り、出しやすくします。

添加剤：乳糖水和物、セルロース、クロスCMC-Na、ヒドロキシプロピルセルロース、無水ケイ酸、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、マクロゴール、酸化チタン、三二酸化鉄 含有

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先 株式会社 富士薬品 (学術室)
電話 (048) 648-1118 9:00~17:30 (土、日、祝日を除く)

製造販売元 **株式会社 富士薬品**
埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地